

# Tokyo-London Green Financial Seminar 2021

## 開催日時

令和3年 **2月10日** (水) 17:30—19:00 (日本時間)

開催方法	オンライン配信 ※別途、事前参加申込が必要です。
対象	国内外の金融関係者、関係省庁・団体等

## プログラム (予定) ※日英同時通訳あり、参加費無料

17:30 - 17:35	<b>知事挨拶 (ビデオ配信)</b> 登壇者: 小池 百合子 東京都知事
17:35 - 17:45	<b>基調講演 (ビデオ配信)</b> 登壇者: ウィリアム・ラッセル シティ・オブ・ロンドン ロード・メイヤー
17:45 - 18:15	<b>対談「日英協力の展望 グリーンリカバリーとTCFDの視点から」</b>
	<b>モデレーター</b> ・森 滋彦 有限責任監査法人トーマツ リスクアドバイザー事業本部 フィナンシャルインダストリー FSI リスクアドバイザー ディレクター
18:15 - 18:55	<b>スピーカー</b> ・ロジャー・ギフォード卿 グリーン・ファイナンス・インスティテュート会長、シティ・オブ・ロンドン・コーポレーション 参事会員
	・池田 賢志 金融庁 チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー
18:55 - 19:00	<b>パネルディスカッション「グリーンファイナンスをめぐる最新情勢報告」</b>
	<b>モデレーター</b> ・高田 英樹 Green Finance Network Japan 事務局長
18:55 - 19:00	<b>パネリスト</b> ・シェリー・マデラ ロンドン証券取引所グループ チーフガバメントアフェアーズオフィサー
	・足達 英一郎 株式会社 日本総合研究所 理事
18:55 - 19:00	・加藤 裕幸 株式会社 DBJ 証券取締役 社長
	・山崎 周 三菱UFJ銀行 ソリューションプロダクツ部 サステナブルビジネス室 室長 (環境社会リスク管理担当)
18:55 - 19:00	<b>英国大使館挨拶 (ビデオ配信)</b> 登壇者: ポール・マデン 駐日英国大使

主催



後援



協力

Green Finance Network Japan

## 知事挨拶 (ビデオ配信)

### 小池 百合子

東京都知事

1976年10月 カイロ大学文学部社会学科卒業  
1992年7月 参議院議員  
1993年7月 衆議院議員  
2003年9月 環境大臣  
2004年9月 内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)兼任  
2006年9月 内閣総理大臣補佐官(国家安全保障問題担当)  
2007年7月 防衛大臣  
2010年9月 自民党総務会長  
2011年10月 予算委員会理事  
2016年7月 東京都知事 当選  
2020年7月 東京都知事 当選(2期目)



## 基調講演 (ビデオ配信)

### ウィリアム・ラッセル

シティ・オブ・ロンドンロードメイヤー 2019-2021

ウィリアム・ラッセルは1965年にロンドンで生まれ、イートン・カレッジとダラム大学で教育を受けた。2019年11月8日、第692代ロンドン市長に就任。彼の在任中の市長テーマは「Global UK – The New Future」で、COVID-19危機を通じて企業を支援し、回復を加速させ、新しい未来の機会をつかむことである。ウィリアム氏は、国内および国際銀行部門の上級職を務めたなど、金融およびビジネスシティで30年以上の経験を持っている。1987年にファースト・ボストン・コーポレーションに勤務した後、1992年にメリルリンチに入社し、アジア、ニューヨーク、ロンドンで働く機関株式販売の投資銀行家として入社した。ウィリアム氏は現在、ロンドンに本拠を置くアセットマネジメント事業者であるCDAMの議長を務め、STJアドバイザーのシニアアドバイザーを務めている。ウィリアム氏は、英国に拠点を置くフィンテックコミュニティの業界団体であるイノベートファイナンスの取締役会でも働き、教育起業家でもある。彼はとても慈善活動に関心がある。彼はロイヤルコロシアターの開発委員会の議長、ギルドホール音楽演劇学校の理事、王立演劇支援信託評議会を務めた。



## 対談 「日英協力の展望 グリーンリカバリーとTCFDの視点から」

### モデレーター

#### 森 滋彦

有限責任監査法人トーマツ  
リスクアドバイザー事業本部フィナンシャルインダストリー、FSIリスクアドバイザー ディレクター



略歴 2019年7月より現職にてリスク管理に関するアドバイザーに就任。  
2017年から2019年まで大手都市銀行リスク統括部署で、RAFやストレステストの高度化を推進。同行で2002年以降リスク管理に主に従事し、ロンドン支店、東京本部で、信用リスク、市場・流動性リスク、オペレーショナルリスクと幅広くリスク管理に携わった。オペレーショナルリスクでは先進手法のモデル開発者としてリスク誌の表紙で紹介。Oxford 大学 MBA、ロンドンビジネススクール金融修士号等 「銀行法務 21」9月増刊号「金融機関の危機管理」緊急時対応」経済法令研究会(2020年共同執筆) 「非財務リスク管理の実務」金融財政事情研究会(2020年執筆代表)

### スピーカー

#### ロジャー・ギフォード卿

グリーン・ファイナンス・インスティテュート会長  
シティ・オブ・ロンドン・コーポレーション 参事会員



ロジャー・ギフォード卿はロンドンのSEBのシニアバンカーである。オックスフォード大学で化学を学び、1982年にSEBに入社し、S.G.ウォーバーク&Co金融部門でキャリアをスタートさせた。英国カントリーヘッド(2000年~2016年)に就任する前、ロジャー氏は日本で6年間銀行の業務を率いた。彼は、彼のキャリアのほとんどを一次債務と株式資本市場に携わり働いてきた。ロジャー氏は、ロンドンの外国銀行協会(AFB)の現副会長、また旧議長であり、国際ビジネス外交交流(IBDE)の諮問委員会の議長を務めている。2016年に開始されたロンドン・グリーン・ファイナンス・イニシアティブの議長を務め、G20気候アジェンダへの金融セクターの貢献をさらに促進し、2018年に英国政府のグリーンファイナンススタックフォーラムの議長を務めた。ロジャー氏はまた、気候変動の課題に立ち向かう経済、リスク、商業の機会を主な焦点とする2019年に立ち上げられたグリーンファイナンス研究所の会長でもある。ロジャー氏は2012/13年にロンドン市長を務めた。

### スピーカー

#### 池田賢志

金融庁  
チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー



2019年3月、日本金融庁初のチーフ・サステナブルファイナンス・オフィサーに就任。この新たな能力において、JFSAの「持続可能な開発目標プロジェクトチームを率いるとともに、日本のTCFD 動向に沿った気候関連財務開示の推進など、持続可能な金融に関する幅広い課題を扱う。

## パネルディスカッション 「グリーンファイナンスをめぐる最新情勢報告」

### モデレーター

#### 高田 英樹

Green Finance Network Japan 事務局長



日本政府財務省予算局長/グリーン・ファイナンス・ネットワーク・ジャパン事務局長高田氏は1995年より財務省で政府職員として働いている。彼は、財政、税金、通商政策、金融サービスなど、政府の中心で政策決定の幅広い経験を持っている。彼の20年以上のキャリアの中で、英国で5年間過ごし、ケンブリッジとLSE(1997-99)で学び、HM 財務省(英国財務省、2003-06年)への出向し、金融規制、投資市場政策、公共支出に取り組んだ。2009年、新たに創設された国家政策ユニットの最初の職員となり、新財政枠組みの建築家として、また内閣顧問として、新たに創設された国家政策ユニットの第一人者となった。財務大臣事務局長の事務職を歴任し、省の全体的な調整と広報を担当した後、パリのOECDに出向し、2015年から2018年まで環境総局のグリーンファイナンス・投資チームでシニア・ポリシー・アナリストとして働いた。2018年に東京に戻った後、彼は、日本のグリーンファイナンスの主要企業を官民の両方から集め、国際的なネットワークホルダーと繋がることのできる場を提供する非公式ネットワーク「グリーンファイナンスネットワークジャパン」を立ち上げた。高田氏は公的な分野において、現在は財務省予算局公務員報酬給付部長を務め、国民年金基金によるESG投資を推進している。高田氏は法学(東京大学)、法学修士号(ケンブリッジ大学)、MBA(インベリアル・カレッジ・ロンドン)を取得している。

### パネリスト

#### 加藤 裕幸

株式会社DBJ証券 取締役社長  
(日本政策投資銀行グループ)



1990年に日本開発銀行(DBJ)に入社し、融資副部長など様々な職に就任。シンジケートユニットと財務省財務部門の責任者。2008年から2013年まで、国際部長を務め、DBJのグローバルビジネスプラットフォームの構築を担当。2013年には、DBJの英国子会社であるDBJヨーロッパ株式会社のCEOに就任し、3年間を経て、欧州におけるDBJの事業拡大に取り組んだ。2016年、財務省長官に就任。担当は、サステナビリティ債を含む債券発行から、金融市場取引、ALMデリバティブの実行まで多岐にわたる。2018年6月より、DBJ証券株式会社のCEOを務め、プライベート・エクイティ、およびインフラファンドの設立・配置、グリーン・その他のテーマ債の配置に注力。1990年度慶應義塾大学で経済学の修士号を、1997年にタツタ大学フレッシャー校で法学と外交学修士号を取得。2001年から2004年までOECDの国際エネルギー機関に出向し、World Energy Outlookシリーズの制作に貢献。

### パネリスト

#### 足達 英一郎

株式会社日本総合研究所 理事



1986年、株式会社三菱総合研究所入社。1990年、株式会社日本総合研究所入社。経営戦略研究部、技術研究部を経て、現職。企業の社会的責任の観点からの産業調査、企業評価の業務を統括。  
2003~2004年には、社団法人経済同友会の第15回企業白書の発行に携わる。その後、同社会的責任経営推進委員会ワーキング・グループメンバー。また、2005年03月~2009年05月には、ISO26000作業部会日本エキスパートとして「組織の社会的責任に関する国際規格ISO26000」の策定に携わる。現在、三菱商事株式会社サステナビリティ・アドバイザー・コミティメンバー、一般財団法人地域公共交通総合研究所アドバイザーも務める。2019年3月~、ISO TC322(持続可能性のための金融)専門委員会日本エキスパート。2021年1月~、金融庁の設置する「サステナブルファイナンス有識者会議」メンバーとなる。

### パネリスト

#### シェリー・マデラ

ロンドン証券取引所グループ  
チーフガバメントアフェアーズオフィサー



シェリー・マデラは、2019年3月にシティ・オブ・ロンドンでアジア経済大使兼特別顧問を務め、リフィニティブにリフィニティブ チーフガバメントアフェアーズオフィサーとして入社。リフィニティブは、明確な地政学的、規制、市場構造のリスクと機会を持つ、グローバルで非常にダイナミックな環境で事業を展開するグローバルな金融データビジネスである。シェリー氏は、ノッティンガム大学の非業務執行取締役/評議員、香港サイバーポットの諮問委員、IBDE 国際委員長(国際ビジネス & 外交交流)を含む様々なリーダーの役割を果たし、Future of Sustainable Data Allianceの議長(WEF、国連、IIF、その他の業界リーダーと並んで)を務めている。以前は、北京の英国大使館で大臣兼ディレクターとして、シェリー氏は英国と中国の間の貿易と投資を促進する責任を負っていた。特に、国境を越えた成長の主要産業として、金融、ビジネスサービスと技術部門に焦点を当てていた。彼女は、通常の英・中経済金融対話や首相サミットで主導的な役割を果たし、政策目標の策定、ならびに英国とアジア間の対内および対外投資機会の向上を支援した。

### パネリスト

#### 山崎 周

三菱UFJ銀行 ソリューションプロダクト部  
サステナブルビジネス 室長(環境社会リスク管理担当)



山崎氏は持続可能な事業の責任者を務めている。MUFG銀行ソリューション製品部門(株)事務所(社会・環境リスク管理)、現在の担当以前は、電力・再生可能エネルギー分野におけるプロジェクトファイナンスのリスク管理と金融の取り決めに携わる14年以上の経験を持っている。また、国際協力機構(JICA)の環境・社会配慮諮問委員も務めている。慶應義塾大学(東京)にて、証券の認定会員アナリストを務める。

日本アナリスト協会 2019年8月~  
現在サステナブルビジネス室(環境社会リスク管理担当) 代表取締役 MUFG銀行のソリューション製品部門、および株式会社ソリューション製品部門経営企画本部サステナビリティオフィス 専務取締役三菱UFJフィナンシャル・グループ  
2015年6月~2019年8月  
社会・環境リスク評価専任 三菱UFJ銀行 銀行財務部(東京)  
2012年12月~2015年5月  
東京三菱UFJ銀行のプロジェクト・ファイナンス・グループ(東京)の電力・インフラ責任者。

## 英国大使館挨拶 (ビデオ配信)

### ポール・マデン

駐日英国大使

2017年1月より現職。  
2015年 アジア大洋州特別局長  
2011年 - 2015年 駐オーストラリア英国高等弁務官  
2007年 - 2011年 駐シンガポール英国高等弁務官  
2004年 - 2006年 貿易・対英投資総省(現: 国際通商省)にマネージング・ディレクターとして出向。多岐に亘るセクターの企業を支援する、国際貿易開発戦略の調整および施行を担当。  
2005年には愛知万博でイギリス館の受賞に関わったチームを率いる。  
2003年 - 2004年 外務省情報副局長、パブリック・ティムロマーシー政策担当。  
BBCワールドサービス及びブリティッシュ・カウンシルへの、英国外務省の財政的支援やチーフ・ヴィンディング奨学金制度の管理等に携わる。  
2000年 - 2003年 駐シンガポール英国副高等弁務官、  
1996年 - 2000年 駐米英国大使館にて勤務



1992年 1996年には外務省本省にて欧州連合の拡大および環境問題を担当。初めての日本への赴任は1988年。以後4年間、経済・貿易政策部一等書記官として勤務。外務省入省前の1980年より1987年まで貿易産業省(現: 国際通商省)にて、様々な産業セクターや貿易政策を担当。日本担当課長や大臣秘書官(2年間)を務める。この間、1982年に日本国外務省主催のエッセイ・コンテストにて優勝し、初来日。日本語はロンドン大学アジア・アフリカ研究学院にて学んだ。ケンブリッジ大学にて経済地理学の修士号を取得。英国王立地理学会のフェロー。ダラム大学にてMBAを取得。エリザベス女王陛下よりCMG(Order of St Michael and St George)が授与された。2003年に著書「Raffles: Lessons in Business Leadership」が出版された。2015年にシドニーにて、自身の脚本による喜劇作品が上演された。セラ マデン夫人との間に子供が三人。英国デヴォン出身。